

LEICA V-LUX 4

取扱説明書 / Instructions /

Notice d‘utilisation /

Instrucciones

はじめに
このたびは Leica V-Lux 4をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

著作権にお気をつけください
- あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

お知らせ
本書に記載のイラスト･メニュー画面などは実物と多少異なる場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）
人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🚫	してはいけない内容です。	❗	実行しなければならない内容です。

⚠危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
（※以降は、「バッテリー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオーブンなどで）しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
- 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する
（※以降は、「チャージャー」と表記）

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

⚠警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

・チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。

・電源を切り、販売店にご相談ください。



分解禁止

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100 V〜240 V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

⚠警告



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。
長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

⚠警告



接触禁止

雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

● 本体やチャージャーには、金属部があります。



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

● 首に掛けての使用はしない



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

⚠注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

● 乳幼児を撮影するときは、1m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。
発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

● 発光直後は、しばらく触らないでください。

⚠注意



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなるところ(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

⚠注意

3Dの視聴について



光過敏の既往症のある人､心臓に疾患のある人､体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴中に疲労感､不快感など異常を感じた場合には､視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。



- **■ 近視や遠視の人､左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより､視力を適切に矯正する**
- **■ 3D撮影画像の視聴中に､はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する**

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります｡視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。



3D撮影画像を視聴する場合は､30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



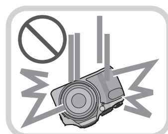
3D撮影画像の視聴年齢については､およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は､疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため､急に体調が悪くなることがあります。

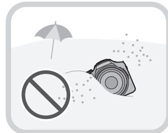
- お子様がご視聴の際は､保護者の方が目の疲れがないか､ご注意ください。

目次

ご使用の前に







本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
  また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
  – 本機を落とす、またはぶつける
  – レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける
- **持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。**
- **本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動なので故障ではありません。**

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  – 砂やほこりの多いところ
  – 雨の日や浜辺など水がかかるところ

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック BP-DC12-E BP-DC12-U	 18 728 18 729
バッテリー チャージャー BC-DC12-E BC-DC12-U	 423-111.001-010 423-111.002-010
電源ケーブル EU UK AUS 台湾 中国 韓国	 423-111.001-006 423-111.001-007 423-068.801-023 423-111.001-009 423-111.001-010 423-111.001-008 (仕向け地により異なります)
ショルダーストラップ	423-094.001-014
レンズフード	423-111.001-015
レンズキャップとひも	423-111.001-018
CD-ROM (取扱説明書収録)	423-111.001-016
USB接続ケーブル	423-106.001-010
AVケーブル	423-105.001-010
ボタン表示シール (カナダ/台湾向け)	423-111.001-025/ -026 (カメラモデル18 191/18 192にのみ付属)
取扱説明書 (本書)	93 483 -486 (仕向け地により異なります)
保証書	439-399.100-026

別売品のご紹介

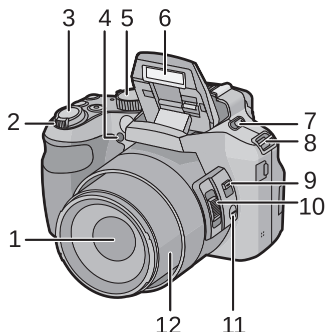
	オーダー番号
システムケース	18 746
Leica CF 22 フラッシュ	18 694
HDMIミニケーブル	14 491
卓上三脚	14 100
自由雲台	14 110

お知らせ

- メモリーカードは別売です。カードがないときは、内蔵メモリーを使って、画像を撮影したり再生したりできます。
- お使いの前に、付属品をご確認ください。
- 付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- 小さな部品はお子様の手の届かない安全な場所で保管してください。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。(→37)

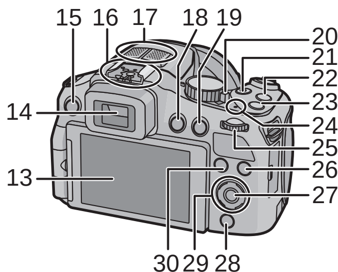
各部の名前と働き

1 レンズ部
2 ズームレバー
3 シャッターボタン
4 セルフタイマーランプ/AF補助光
5 モードダイヤル
6 フラッシュ発光部
7 フラッシュOPEN（オープン）レバー
8 ショルダーストラップ取り付け部
9 フォーカス切換スイッチ
10 サイドレバー
11 [FOCUS（フォーカス）]ボタン
12 レンズ鏡筒

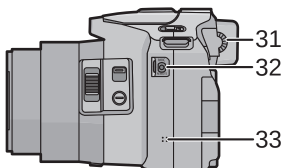


---

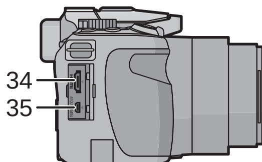
13 液晶モニター
14 ファインダー
15 [EVF/LCD]ボタン
16 ホットシュー
17 ステレオ MIC（マイク）
18 [▶](再生)ボタン
19 [AF/AE LOCK（ロック）]ボタン/[Fn2（ファンクション）] ボタン
20 電源スイッチ
21 動画ボタン
22 [連写アイコン](連写)ボタン
23 [Fn1（ファンクション）] ボタン
24 電源ランプ
25 後ダイヤル
26 [DISP.（ディスプレイ）]ボタン
27 [MENU/SET（メニュー セット）]ボタン
28 [Q.MENU（クイックメニュー）]ボタン /[消去アイコン/戻るアイコン](消去 / 戻る)ボタン
29 カーソルボタン
30 [Fn3（ファンクション）] ボタン



31 視度調整ダイヤル
マイク リモート
32 [MIC/REMOTE] 端子
33 スピーカー
- ●スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。

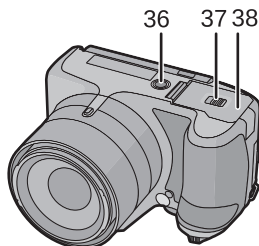


34 [HDMI] 端子
アウト デジタル
35 [AV OUT/DIGITAL] 端子



36 三脚取り付け部
- ●ねじの長さが 5.5mm 以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。

37 開閉レバー
38 カード / バッテリー扉



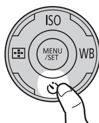
カーソルボタン /[MENU/SET] ボタン

本書ではカーソルボタンの上下左右を次のように、または、▲/▼/◀/▶ で説明しています。

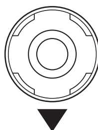
カーソルボタン：
項目の選択や、数値の設定などを行います。

[MENU/SET] ボタン：
設定内容の決定などを行います。

例：▼(下)ボタンを押すとき







または　**▼ を押す**

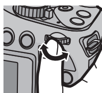
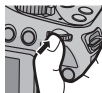
後ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と押して決定する操作との2とおりあります。

回す：
各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。

押す：
各種設定時には、設定内容の決定など、[MENU/SET] ボタンと同じ操作を行います。

● 本書では後ダイヤルの操作を次のように説明しています。

例：左右に回すとき	例：後ダイヤルを押すとき
  	  

バッテリーを充電する

■ 本機で使えるバッテリー

ライカカメラAG製純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。
ライカカメラ AG では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。安全に商品をお使いいただくためにライカ純正バッテリーBP-DC12 (→10)のご使用をお勧めします。

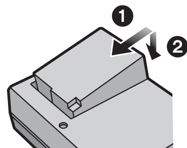
- 本機専用のチャージャーとバッテリーを使用してください。

充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 バッテリーをチャージャーに差し込む

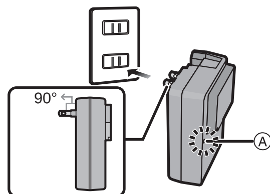
- Leicaロゴ表示を上にして、端子をチャージャーの接続面に合わせる。



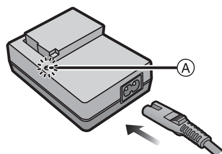
2 電源コンセントに差し込む

● 充電ランプ [CHARGE]Ⓐ が点灯し、充電が始まります。

プラグインタイプ



インレットタイプ



■ 充電ランプ [CHARGE] の表示について

点灯: 充電中

消灯: 充電完了(充電完了後は、チャージャーを電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください)

● **点滅するときは**

– バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が 10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。

– チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

■ 充電時間: 約 140 分

使用時間と撮影枚数の目安

記録可能枚数	約540枚
撮影使用時間	約270 分

CIPA規格による撮影条件

- CIPAは、カメラ映像機器工業会(Camera & Imaging Products Association)の略称です。
- プログラム AE モード
- 温度23 ℃/湿度50% RH、液晶モニターを点灯
- 32MBのSDメモリーカード使用
- 付属バッテリー使用
- 電源を入れてから30秒経過後、撮影を開始(手ブレ補正[ON]使用)
- **30秒間隔で1回撮影**、フラッシュを2回に1回フル発光
- 撮影ごとに、T端→W端またはW端→T端にズームを動かす
- 10枚撮影ごとに電源を切り、バッテリーの温度が下がるまで放置

再生使用時間	約440分

内蔵メモリー/カードについて

内蔵メモリー

- **容量：約70MB**
- カードよりアクセス時間が長い場合があります。

カード

本機ではSD規格に準拠した以下のカードが使用できます。

<table>
<tr><th></th><th>備考</th></tr>
<tr><td>SDメモリーカード
（8MB～2GB）</td><td rowspan="3">● 動画撮影の際は、SDスピードクラス※が「Class4」以上のカードを使用してください。
● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。
● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。
● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。
● 本機はUHS-I規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。
● 左記の容量以外のカードは使えません。</td></tr>
<tr><td>SDHCメモリーカード
（4GB～32GB）</td></tr>
<tr><td>SDXCメモリーカード
（48GB～64GB）</td></tr>
</table>

※　SD スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
　　カードのラベル面などでご確認ください。

　例：

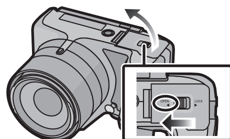
CLASS 4　　4

お知らせ

- 誤って飲み込まないように、メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かないでください。

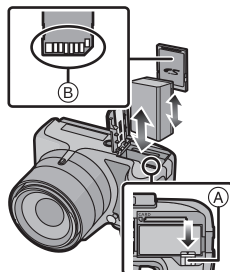
バッテリー/カードを入れる・取り出す

- 電源スイッチを [OFF] にして、レンズ鏡筒が収納されていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。



1 **電源スイッチを [OFF] にし、開閉レバーを矢印の方向にスライドさせ、カード/バッテリー扉を開く**

- ライカ純正バッテリーBP-DC12 (→10) をお使いください。
- 他社製バッテリーを使用した場合、その品質については一切保証できません。

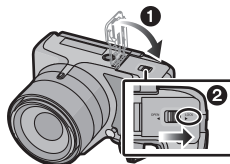


2 **バッテリーとカードを入れる**
正しい方向であることを確認して入れる

バッテリー: レバーⒶでロックされるまで入れる
取り出すときは、レバーを矢印の方向に引いて取り出す

カード: 「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
取り出すときは、「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く

Ⓑ: カードの接続端子部には触れないでください。



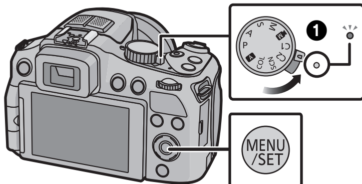
3 **❶: カード / バッテリー扉を閉じる**
❷: 開閉レバーを矢印側にスライドさせる

時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする

- 電源が入ると電源ランプ❶が点灯します。



2 [MENU/SET]を押す

3 ▲/▼で言語を選び、[MENU/SET] を押す

4 [MENU/SET]を押す



5 ◄/►で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する



6 [MENU/SET]を押して決定する

7 [MENU/SET]を押す

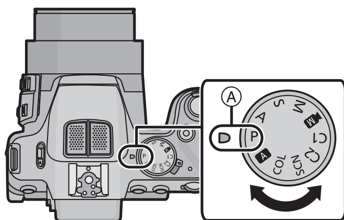
時計設定を変更する

撮影メニューまたはセットアップメニューの[時計設定]を選び、►を押してください。

- 上記の手順**5**、**6**の操作で変更できます。

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを回して、モードを切り換える



Ⓐの部分に使用したいモードを合わせる
- モードダイヤルを切り換えたいモードにカチッと音が鳴って止まるまで回して、確実に合わせてください。（モードダイヤルは360°回転します）

■ 基本

P	プログラム AE モード
お好みの設定で撮影します。	
A	スナップショットモード
カメラにおまかせで撮影します。	

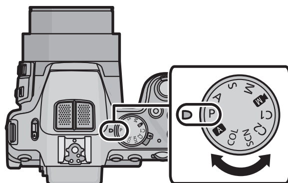
■ 応用

A	絞り優先 AE モード
絞り値を決めて撮影します。	
S	シャッター優先 AE モード
シャッタースピードを決めて撮影します。	
M	マニュアル露出モード
絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。	
動画M	クリエイティブ動画モード
マニュアル操作で動画を撮影します。	
C1 C2	カスタムモード
あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。	
SCN	シーンモード
撮影シーンに合わせて撮影します。	
COL	クリエイティブコントロールモード
画質効果を確認しながら撮影します。	

プログラムＡＥモード

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 **モードダイヤルを[P]に合わせる**

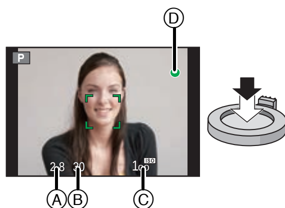


2 **ピントを合わせたい位置にAFエリアを合わせる**

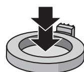
3 **シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる**

Ⓐ 絞り値
Ⓑ シャッタースピード
Ⓒ ISO感度

- ピントが合うと、フォーカス表示（緑）Ⓓが点灯します。



4 **シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する**

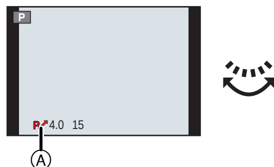


プログラムシフトについて

プログラムAEで本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。プログラムAEでの撮影時に、より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 **シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる**

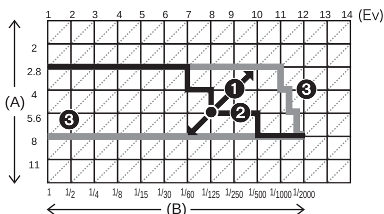
2 **数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルを回してプログラムシフトする**



- プログラムシフトされている場合は、画面にプログラムシフト表示Ⓐが出ます。
- 以下の場合、プログラムシフトは解除されます。
  – 電源スイッチを [OFF] にしたとき
  – プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回したとき

■ プログラムシフトの例

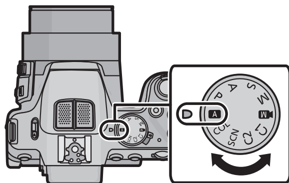
(A): 絞り値
(B): シャッタースピード
❶ プログラムシフト量
❷ プログラムシフト線図
❸ プログラムシフト限界



スナップショットモード

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

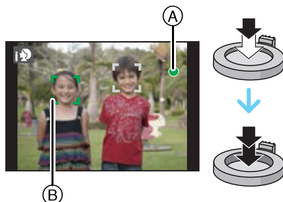
1 **モードダイヤルを [A] に合わせる**



2 **シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する**

Ⓐ フォーカス表示

● 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアⒷが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAF エリアが表示されます。



自動シーン判別について

カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが2秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。

[A] →

i人物	i風景
iマクロ	i夜景&人物※1
i夜景	i手持ち夜景※2
i夕焼け	i赤ちゃん※3

※1 [i⚡A]選択時のみ

※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定時のみ表示されます。

※3 [個人認証]を[ON]に設定時、顔登録の誕生日が設定済みで、年齢が3歳未満の人物を顔認識したときのみ表示されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は [A]になり、標準的な設定を行います。
- [i人物]、[i夜景&人物]、[i赤ちゃん]のときは、カメラが人の顔を自動的に検知し、認識した顔にピントや露出を合わせます。**(顔認識)**

動画を撮る

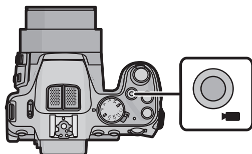
使えるモード： [iA] [P] [A] [S] [M] [動画M] [C1] [C2] [SCN] [COL]

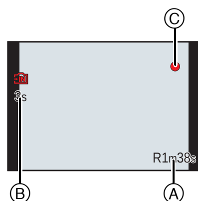
本機で撮影できる動画形式は AVCHD または MP4 です。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

Ⓐ 記録可能時間
Ⓑ 記録経過時間

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）Ⓒが点滅します。





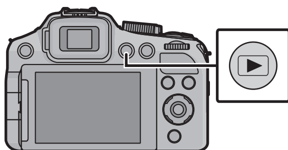
2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

お知らせ

- **カメラモデル18 190 の場合：**
  [AVCHD]で 1 つの動画として連続記録できる時間は 29分までです。
  [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分まで、ファイルサイズは4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。（[MP4]の[FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分より短くなります）
- **カメラモデル18 191 / 18 192 の場合：**
  （日本販売モデル：18 191）
  [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分まで、ファイルサイズは4 GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。（[MP4]の[FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分より短くなります）

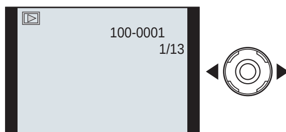
画像を見る ([通常再生])

1 **[▶] を押す**



2 **◀ または ▶ を押す**

- 動画を見る場合は、▲ を押して再生を開始してください。



画像を消去する

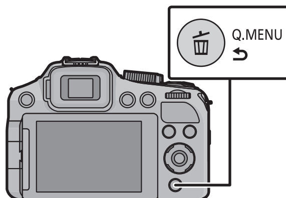
画像は一度消去すると元に戻すことができません。

- 内蔵メモリーまたはカードの再生されている側の画像が消去されます。

1 **[▶] を押す**

2 **消去する画像を選び、[🗑/↩] を押す**

- 確認画面が表示されます。
  [はい] を選ぶと消去されます。



メニューを使って設定する

例)撮影メニューで、[オートフォーカスモード]を[■](1 点)から[顔](顔認識)に設定する

1 [MENU/SET] を押す

2 ▲/▼ を押す、または後ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

3 ▶ または後ダイヤルを押す

● メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。

4 ▲/▼ を押す、または後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ



5 [MENU/SET] または後ダイヤルを押して決定する

■ メニューを終了する

[MENU/SET] を押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換える

例)撮影メニューからセットアップメニューに切り換える

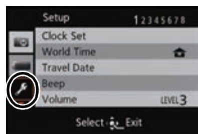
1 [MENU/SET] を押す

2 ◀を押す

3 ▼ を押す、または後ダイヤルを回してセットアップメニューアイコン[ ]を選ぶ

4 ▶ を押す、または後ダイヤルを押す

● メニュー項目の選択と設定は上記手順 **2** から **5** を実行してください。

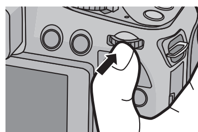


露出補正

使えるモード： A P A S M ▶M C1 C2 SCN COL

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

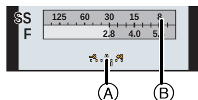
1 **露出補正操作が有効になるまで後ダイヤルを押す**



2 **後ダイヤルを回して露出を補正する**

Ⓐ 露出補正表示

Ⓑ 露出メーター表示



絞り優先 AE/ シャッター優先 AE モード

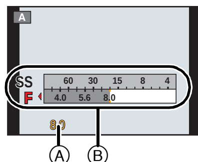
絞り優先AEモード

背景までピントを合わせて撮りたいときは絞り値を大きく、背景をぼかして撮りたいときは絞り値を小さくしてください。

1 **モードダイヤルを [A] に合わせる**

2 **後ダイヤルを回して絞り値を設定する**

Ⓐ 絞り値
Ⓑ 露出メーター表示
● 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。



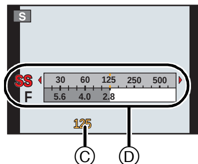
シャッター優先AEモード

動きを止めて撮りたいときはシャッタースピードを速く、動きを表現したいときにはシャッタースピードを遅くしてください。

1 **モードダイヤルを [S] に合わせる**

2 **後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する**

Ⓒ シャッタースピード
Ⓓ 露出メーター表示
● 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

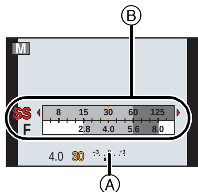


マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。
露出の状態の目安を示す、マニュアル露出アシストが画面下部に表示されます。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

2 後ダイヤルを回して絞り値とシャッタースピードを設定する



Ⓐ マニュアル露出アシスト
Ⓑ 露出メーター表示

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作とシャッタースピード設定操作が切り換わります。

■ マニュアル露出アシストについて

−3 0 +3	適正露出になります。
−3 0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
−3 0 +3	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

付属CD-ROMに収録されている取扱説明書を読む

- 本書の内容を理解し、他の機能や応用操作について知りたいとき
- 「Q&A 故障かな？と思ったら」を参照したいとき

そのようなときは、付属のCD-ROMに収録されている取扱説明書（PDF形式）をご覧ください。

1 パソコンの電源を入れ、付属のCD-ROMをセットする

2 CD-ROM を開く

3 表示したい言語の PDF ファイルをダブルクリックして開く

■ 取扱説明書（PDF 形式）が開かなかった場合

取扱説明書（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0 以降、または Adobe Reader 7.0 以降が必要です。

- 下記のサイトから、お使いのパソコンの OS に対応したバージョンの Adobe Reader をダウンロードして、インストールしてください。
  http://get.adobe.com/reader/otherversions

利用可能なソフトウェアを使って撮影した画像データをパソコンにコピーする

Adobe® Photoshop® Lightroom® ソフトウェア（ダウンロードしてご利用になれます。以下をご参照ください。）を使用して、本機で撮影したすべてのファイル形式の画像データ（写真・動画）をパソコンに取り込むことができます。
ソフトウェアを使用するには、以下の 3 つの手順を行ってください。

1 **お使いのパソコンにソフトウェアをインストールする**

2 **お使いのカメラをライカカメラ AG ホームページに登録する**

a. http://owners.leica-camera.com でアカウントを作成いただくと、"カスタマーサイト"をご利用いただけます。
b. 指示に従ってシリアル番号を入力して、お使いのカメラを"製品情報"に登録してください。
c. "画像編集用ソフトウェア"を選択してください。保証書に添付のステッカーに記載されている TAN コードを入力してください。
   - ソフトウェアを起動するためのキーが電子メールで送信されます。

3 **受け取ったキー（数字）でソフトウェアを起動する**

- ソフトウェアの起動後は表示される指示に従ってください。

■ ソフトウェアを使う

1 **お使いのパソコンにカメラを接続してください**

- 接続手順については、付属 CD-ROM に収録されている取扱説明書をご覧ください。

2 **Adobe® Photoshop® Lightroom®を使って、写真や動画をパソコンにコピーする**

- ソフトウェアの操作方法の詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。

- AVCHD 動画のファイルやフォルダは、Windows のエクスプローラーなどを使って消去・加工・移動を行った場合、再生や編集ができなくなります。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

撮像素子	$^{1}/_{2.3}$型 CMOSセンサー、総画素数：1280万画素、 原色カラーフィルター
カメラ有効画素数	1210 万画素
最低被写体照度	約9 lx （iローライト時、シャッタースピード$^{1}/_{25}$秒） （カメラモデル18 190の場合） （iローライト時、シャッタースピード$^{1}/_{30}$秒） （カメラモデル18 191/18 192の場合）
レンズ	LEICA DC VARIO-ELMARIT f/2.8 4.5-108mm ASPH.,（35mm フィルムカメラ換算：25-600mm） 絞り範囲： 4.5mm（W 端時） 写真：f/2.8 ～ 8 動画：f/2.8 ～ 11 108mm（T 端時） 写真：f/2.8 ～ 8 動画：f/2.8 ～ 11
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	
AF	30cm（W 端時）/2m（T 端時）～∞
AF マクロ/MF/スナップショット/動画	1cm（W端時）/1m（T端時）～∞
シーンモード	上記撮影範囲と異なる場合あり
デジタルズーム	最大4倍
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
シャッタースピード	60 秒～$^{1}/_{4000}$ 秒

露出	プログラムAE(P)、絞り優先 AE(A)、 シャッター優先 AE(S)、マニュアル露出(M) 露出補正 (補正値: $^{1}/_{3}$EV ステップ、補正範囲: ± 3EV)
測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
フラッシュ	内蔵ポップアップ式
フラッシュモード	オート/赤目軽減オート/赤目軽減スローシンクロ / 強制発光/発光禁止
フラッシュ撮影可能範囲 (ISO AUTO 設定時)	約 0.3m～約13.5m(W 端時) 約 1m～約13.5m(T 端時)
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー(約 1,312,000 ドット) 視野率約100% 視度調整付き± 4diopter
液晶モニター	3.0型TFT液晶(約461,000 ドット)、 視野率約100%
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約70MB)、 SD/SDHC/SDXCメモリーカード

記録画像ファイル形式 圧縮率		
	写真	RAW / JPEG(Exif2.3準拠) / DPOF対応 / MPO
	動画 (音声付き)	AVCHD(Dolby® Digital 2ch) / MP4(AAC 2ch)
推奨使用温度/許容相対湿度		0 ℃～40 ℃/10%～80%
インターフェース		デジタル: USB 2.0(High Speed) カメラモデル 18 190では、USB接続ケーブルを使ってパソコンからカメラにデータを書き込むことはできません。 アナログビデオ/オーディオ: カメラモデル18 190では、NTSC/PALコンポジット出力(メニューで切り換え) カメラモデル18 191 / 18 192では、NTSCコンポジット出力、 オーディオライン出力(モノラル)
端子		HDMI: miniHDMI(Cタイプ) MIC/REMOTE:∅2.5 mm ジャック AV OUT/DIGITAL:専用ジャック(8 pin)
寸法 (幅 × 高さ × 奥行き;レンズ格納時)		約126mm× 87mm×111mm
質量 (カード、バッテリーを含む / 本体のみ)		約590g/540g

バッテリー(リチウムイオン)**: BP-DC12-E/U**

電圧/容量	7.2V / 1200mAh

バッテリーチャージャー: BC-DC12-E/U

定格入力	AC 100V ー 240V 50/60Hz
入力容量	14 VA(100 V)ー22 VA(240 V)
定格出力	DC 8.4V 0.65A

ライカカスタマーサービス

ライカインフォメーションサービス（独語・英語）
付属のソフトウェアを含め、ライカ製品の使い方などの技術的なご質問は、下記までお問合せください。

Leica Camera AG
Information-Service / Software-Support
Postfach 1180
D-35599 Solms
Tel:　+49 (0) 6442-208-111 / -108
Fax:　+49 (0) 6442-208-490
info@leica-camera.com / software-support@leica-camera.com

ライカデジタルサポートセンター
デジタルカメラの使い方などのご質問は、下記までお問合せください。
Tel:　0120-03-5508
受付時間：
月曜日 ー 金曜日 9:30 ー 18:00
祝祭日は受け付けておりません

ライカカスタマーケア
ライカ製品のメンテナンスや修理が必要な場合には、下記のカスタマーケア、
またはお近くのライカ正規販売店までお問い合わせください。

ライカカメラジャパン株式会社 カスタマーケア
東京都中央区銀座 6-4-1 ライカ銀座店内
Tel:　03-6215-7072
Fax:　03-6215-7073
info@leica-camera.co.jp

■ ご使用上のお願い

- 付属のAVケーブル以外のものを使用しないでください。
- 付属のUSB接続ケーブル以外のものを使用しないでください。
- ライカ純正のHDMIミニケーブルをお使いください。(別売、→10)

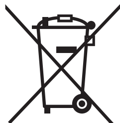
磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビやゲーム機など)からはできるだけ離れてお使いください

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- 携帯電話の近くでは使わないでください。ノイズの影響により画像や音声が悪くなることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを一度外してから、あらためて接続し電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[MENU/SET] を押して [セットアップ] → [バージョン表示] を表示し、[MENU/SET] を押してご覧ください。

使用済み充電式電池の届け先

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.net/hp



充電式
リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- “AVCHD”, “AVCHD Progressive”および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて使用されるApple Inc. の商標または登録商標です。
- LEICA/ライカは、ライカマイクロシステムIR GmbHの登録商標です。
- ELMARIT/エルマリートは、ライカカメラAGの登録商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- Adobe® Photoshop® Lightroom® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
- AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC ビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合

詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

AVCHD™ Progressive

HDMI

DOLBY DIGITAL



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B



my point of view

Leica Camera AG / Oskar-Barnack-Straße 11 / D-35606 SOLMS / DEUTSCHLAND
Telefon +49 (0) 6442-208-0 / Telefax +49 (0) 6442-208-333
www.leica-camera.com

93 484 / VQT4L24 XI/ 12/P